

## 第 2 1 回 アビリンピック埼玉大会事前公表課題

ワードプロセッサ (文書作成競技課題 制限時間 35 分)

---

文書作成競技課題「和楽器の魅力」

以下に従い、A4 用紙縦 1 枚に収まるように別紙の文書を作成すること。作品はデスクトップにあるフォルダ名「アビリン」にファイル名を「選手番号(半角)\_和楽器の魅力」として保存すること。

[設問 1] 印刷面の余白は、上下左右 25mm 程度にすること。1 ページの行数は 45、文字数は 40 とする。指示のないフォントは MS 明朝、フォントサイズは 10.5 ポイントとする。

[設問 2] タイトル「和楽器の魅力」の設定

- ・ワードアート：塗りつぶし白 輪郭アクセント 1 影
- ・文字の輪郭：白 背景 1
- ・フォント：HGP 創英角ポップ体
- ・フォントサイズ：48 ポイント
- ・フォントの色：赤

[設問 3] 「鼓・和太鼓・尺八」について

- (1) 作成方法の設定
  - ・Smart Art の種類：リストの「横方向画像リスト」を利用
  - ・色の設定：「カラフル アクセント 5 から 6」
  - ・図「鼓」「和太鼓」「尺八」を使用
- (2) 文字「鼓・和太鼓・尺八」の設定
  - ・フォント：HG 正楷書体-PRO
  - ・フォントサイズ：16 ポイント
- (3) リスト内の文字の設定
  - ・フォント：MS 明朝
  - ・フォントサイズ：11 ポイント

[設問 4] 「古代から中世に発展、近代から現代に発展」について

- (1) 作成方法の設定
  - ・Smart Art の種類：リストの「箇条書き記号アクセントリスト」を利用
  - ・色の設定：「カラフル アクセント 4 から 5」
- (2) タイトルについて
  - ・フォント：HGS 行書体
  - ・フォントサイズ：16 ポイント
  - ・色「赤」、「緑」

**〔設問 5〕 文章について**

- (1) 「和楽器は日本や……」の文
  - ・ 段組み「2 段」とする、「境界線を引く」とする
  - ・ 文頭をドロップキャップ設定にする
  - ・ 「和」文字の効果と体裁  
塗りつぶし 紫

**〔設問 6〕 図の挿入について**

- (1) タイトルの背景
  - ・ 図「小鼓」「笙」を使用
- (2) その他の図
  - ・ 図「三味線」「琴」を使用  
(原稿に合わせた大きさを調整すること)

**〔設問 7〕 「ページ設定」について**

- (1) 「ページ背景」について
  - ・ 色：ゴールド、アクセント 4 白+基本色 60%

※図、Smart Art についてはレイアウト「背面」、「前面」等任意設定を活用して構わない。  
※その他、指示にない書式、パターン等については、見本例に近いかたちで仕上げること。